

やしろじょうせき 「屋代城跡」

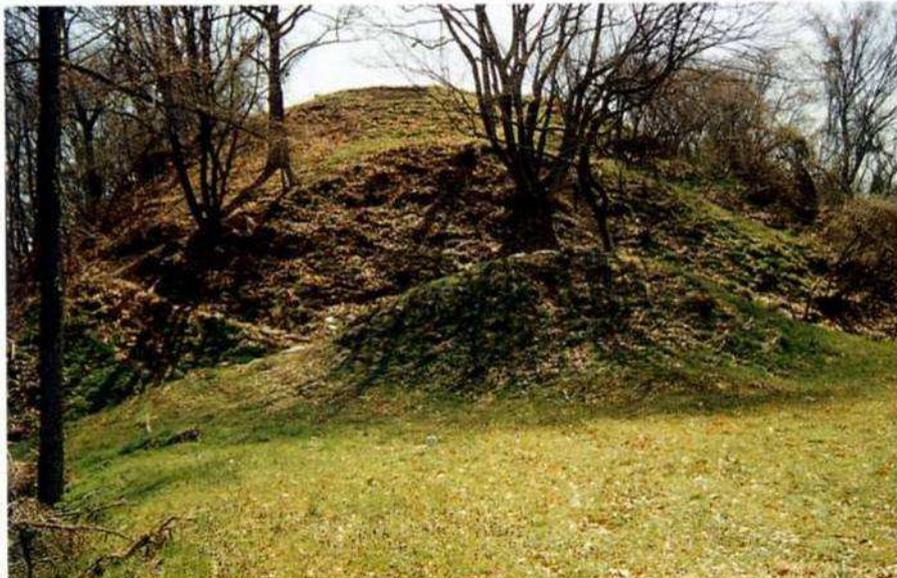
- 指 定 千曲市指定史跡 昭和 48 年 10 月 24 日
- 所 在 地 千曲市大字屋代字一重山・大字小島字東山
- 所 有 者 千曲市 ほか
- 概 要 山城跡 指定面積：16,353 m²
- 時 代 戦国時代（15～16 世紀）
- 公 開 いつでも可

屋代城は、一重山^{ひとえやま}全域^{じょうかく}に城郭^{じょうかく}施設^{しせつ}を設けた山城^{やしろ}です。

部分的な発掘調査により青磁・瀬戸、美濃産の鉢や皿、天目茶碗、内耳鍋などが出土して、15 世紀後半から 16 世紀前半にこの城が使用されていたことが明らかになりました。

屋代城は、15 世紀後半の応仁・文明^{おうにん ぶんめい}の乱のころ、村上氏の代官として活躍した屋代氏^{やしろ}が村上氏と結んで、海野氏・井上氏と抗争し、その必要性から屋代氏によって築城されたものと考えられます。

屋代城は戦国時代を通じて屋代氏代々の要害城でした。史実の上で明らかなもので、山城として初期の構造を示していて、よく原形を保っている貴重な遺跡です。



3曲輪から、土塁・堀切、2曲輪へと続く